

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	23021	
事業名	(株)コンサドーレ貸付金						
評価担当課	所属名	ス)スポーツ部 企画事業課					
	課長名	深井 貴広	担当者名	若松 亮太	電話番号	011-211-3044	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他					
	目的	短期	プロスポーツの支援をすることで、「みるスポーツ」の機会の創出、地域の活性化やコミュニティの醸成に寄与する。				
		長期	プロスポーツの支援をすることで、「みるスポーツ」の機会の創出、地域の活性化やコミュニティの醸成に寄与する。				
	取組内容	【目的】プロスポーツ支援 【内容】コンサドーレ札幌の運営会社である(株)コンサドーレ(※平成28年より(株)北海道フットボールクラブから社名変更)に対する貸付。①貸付開始:平成10年度 ②当初貸付金額:500,000千円 ③貸付金利:1.1% ④経緯及び現況:平成19年度、26年度に契約改定を行い、返済期間を令和11年度まで延長。返済額は、19年度から10,000千円ずつ、25年度は40,000千円、26年度から29年度までは10,000千円ずつ、30年度以降は30,000千円を毎年返済し、令和11年度までに完済予定。					
実施結果	事業費の貸付により、(株)コンサドーレにおける安定的な経営が可能となったことで、北海道コンサドーレ札幌の試合が安定的に開催することができた。 また、市民に広く「みるスポーツ」の機会を提供できたことで、市民が自分のまちのチームとして応援し、支えることを通して、地域の活性化やコミュニティの醸成、スポーツ振興の推進を図ることができた。						
事業実施における工夫点	なし						
対象者	株式会社コンサドーレ			開始	平成10年度	終了	令和11年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	北海道も500,000千円の貸付を本市と同条件で実施。 貸付金は、平成24年度完済予定であったが、(株)コンサドーレと北海道との協議により返済期限が平成29年度まで延長され、年間35,000千円の分割返済に変更。(平成29年度に完済)						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	300,000	270,000	270,000	240,000
うち特定財源	300,000	270,000	270,000	240,000
人工	0.1	0.1	0.1	0.1
人件費	720	720	720	720
計(事業費+人件費)	300,720	270,720	270,720	240,720
事業費の内訳	令和3年度決算	○貸付金 270,000千円 ○元本返済 30,000千円 ○利子 2,970千円(270,000×1,1%)		
	令和4年度予算	○貸付金 240,000千円 ○元本返済 30,000千円 ○利子 2,640千円(240,000×1,1%)		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	スポーツ実施率(20歳以上・週1回以上)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	54.90%	60.00%	57.70%	60.00%	
活動指標2	指標名	直接スポーツ観戦率(18歳以上・年1回以上)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	20.00%	45.00%	22.40%	25.00%	
成果指標1	指標名	シーズン観客動員数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	81,029人	335,000人	151,315人	250,000人	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	事業費の貸付により、(株)コンサドーレにおける安定的な経営が可能となったことで、コンサドーレ札幌の試合が安定的に開催することができた。 また、市民に広く「みるスポーツ」の機会を提供できたことで、市民が自分のまちのチームとして応援し、支えることを通して、地域の活性化やコミュニティの醸成、スポーツ振興の推進を図ることができた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	(株)コンサドーレの運転資金は本市からの貸付金が大部分を占めており、貸付金の一括返済や大幅な貸付金額の減額は、(株)コンサドーレの財政状況、安定的な経営に重大な支障をきたすことが予想され、現状の貸付金額は(株)コンサドーレの経営状況を踏まえると妥当な金額であると考えている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	(株)コンサドーレは、自立経営に向けた努力を鋭意続けているところであるが、依然として厳しい経営状況にあり、本貸付により、チームの存続と安定的な運営が保たれていることから、他の収入の確保が難しい状況においては、貸付金による支援が妥当であると考えている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	A	北海道コンサドーレ札幌は、地域に密着したトップスポーツであり「みるスポーツ」の機会の提供のみならず、市民が自分のまちのチームとして応援し、支えることを通して、地域の活性化やコミュニティの醸成に貢献している。 運営会社である(株)コンサドーレは、自立経営に向けた努力を鋭意続けてはいるが、依然として経営状況は厳しい状況にあり、安定的な経営のためには貸付金による支援が不可欠であると考えている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	(株)コンサドーレは依然として厳しい経営状況にあることから、観客動員数アップ、新規スポンサーの確保、効率的な経営による支出の削減等、より一層の経営努力を続けることにより、行政からの支援に依存しない自立した経営の確立を求めていく。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし			見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	貸付金による支援を実施することで、(株)コンサドーレの安定的な経営が図られている。市民に広く「みるスポーツ」の機会を提供することが可能となり、市民が自分のまちのチームとして応援し、地域の活性化やコミュニティの醸成、スポーツ振興の推進を図ることができた。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 貸付契約に基づき実施。			
	予算	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 縮小 ○ その他 令和11年度までの分割返済に契約改定を行い、今後の貸付金残高は年々減少していく見込みである。		見直し効果額	0 千円